

# 令和6年度春 子ども図書館おすすめ本

## ★ようじ幼児におすすめの本★ほん

### ★『ぐるんぱのようちえん』

にしうち西内ミナミ/さく ほりうちせいち堀内誠一/え ふくいんかんしよてん福音館書店



ゾウのぐるんぱは、はたらきにでます。でもビスケットやさん、くつやさん、なにをつくってもおお大きすぎてしっぱいばかり。ぐるんぱはしよんぼり、しよんぼり。そんなとき、こどもがたくさんいる、おかあさんにおおであいます。ぐるんぱはこどもたちのために、おお大きなあるものをつくるのですが、それはとてもすてきなものでした。そして、ついに、とてもいいしごとがみつかります。それはなんでしょう？  
くりかえしがたのしい、えほんです。

### ★『かいじゅうたちのいるところ』

モーリス・センダック/さく じんぐうてるお/やく ふざんぼう富山房



あるばん、マックスはいたずらをしておお大あばれ。おかあさんに、ねるへやにほうりこまれます。すると、へやにき木がはえ、もりになり、なみがうちよせてきます。ふねにのってたどりつくと、そこはかいじゅうたちのいるところでした。いたずらなマックスは、ついに、かいじゅうたちのおう王さまになります…。

---

★『かまきりのちよん』

とくだゆきひさ かくいんかんしよてん  
得田之久/さく・え 福音館書店



あさ、かまきりのちよんは、目をさまします。つゆくさのあいだからでてきたちよんを、かんさつしていると、おけしょうのように、あしをなめます。それから、みのむしをたべそくなって、ありのむれのなかに、まっさかさま。あわててにげだした、ちよんのまえに、大きなえものが…。しぜんのなかで、かまきりのちよんを、じっとかんさつできるえほん。

子どもたちにながく、あいされています。



しょうがっこう  
★小学校1・2・3年生におすすめの本★  
ねんせい  
ほん

★『さくら』

はせがわせつこ さく やざまよしこ え ふくいんかんしよてん  
長谷川摂子/作 矢間芳子/絵 福音館書店



はるになると、まんかいのさくらがあちこち  
で見られます。これは、ソメイヨシノという  
名前のさくらです。

はなをさかせたあと、さくらはちって、それ  
からみをむすびます。はっぱがでてきて、なつ  
にはあおあおとしげります。あきには はがあ  
かやきいろになり、そうしてふゆをむかえます。

ソメイヨシノの一年がよくわかる、よみやす  
いえほんです。

★『はじめてのキャンプ』

はやしあきこ さく え ふくいんかんしよてん  
林明子/作・絵 福音館書店

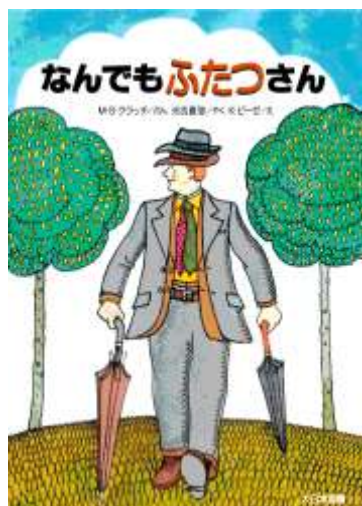


小さいなほちゃんが、ともだちのとなりのお  
ばさんのうちへあそびにいくと、大きい子  
たちがはしゃいでいました。どうやらみんなは  
キャンプに行くようです。小さいなほちゃん  
は、じぶんもいきたいと言いました。でも、大  
きい子たちは、小さい子はすぐなくし、にも  
つもてないからだめだと言うのです。それ  
でもなほちゃんは、ぜんぶできると言って、キ  
ャンプについていくことになるのです。

なほちゃんは、大きい子たちに言ったことを  
ちゃんとできるのでしょうか。

★『なんでもふたつさん』

M.S.クラッチ/文<sup>ぶん</sup> K.ビーゼ/絵<sup>え</sup> 光吉夏弥/訳<sup>やく</sup> 大日本図書<sup>だいにっぽんとしよ</sup>



あるところに、なんでもふたつもちたがる「なんでもふたつ」さんという人がいました。なんでもふたつさんは、着るものもふたつずつならば、食べる量も二人分。家まで二軒もっているほど、なんでもふたつないと気がすみませんでした。

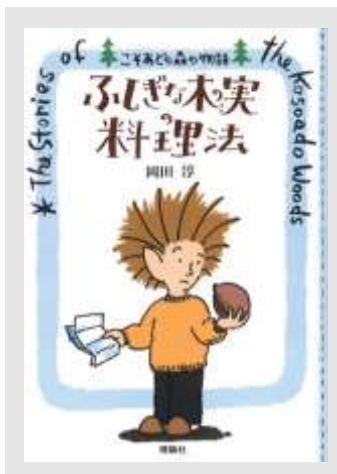
しかし、そんななんでもふたつさんにも、なやみがありました。それは、おくさんとむすこが一人ずつしかいないことだったのです。



## ★小学校4・5・6年生におすすめの本★

### ★『ふしぎな木の実の料理法 <sup>りょうりほう</sup>こそあどの森の物語』

<sup>おかだじゅん</sup>岡田淳/文・絵 理論社



こそあどの森に住んでいる、<sup>むくち</sup>無口な少年スキッパーのところに、ある日、バーバさんから<sup>こづみ</sup>小包がとどきました。入っていたのは茶色い木の実。手紙に「おいしい」と書いてありますが、水にぬれて<sup>りょうりほう</sup>料理法がわかりません。スキッパーはこまってしまいます。人間ぎらいなスキッパーでしたが、決心して、ある人に聞きにいけますが…。

シリーズが11冊のファンタジー。

### ★『ぼくらの地図旅行』 <sup>ちずりょこう</sup>

<sup>なすまさもと</sup>那須正幹/文 <sup>にしむらしげお</sup>西村繁男/絵 福音館書店



5年生のシンちゃんとぼくは、あることから、<sup>えき</sup>駅からとうだいまで、地図とじしゃくをもって歩くことになってしまいました。とうだいまでは、駅から10キロ以上。二人はぶじにたどりつくのでしょうか？

地図のきよりの計算や、記号をよみときながら、二人はとうだいをめざします。

色々な<sup>ふうけい</sup>風景がリアルにえがかれていて、二人といっしょに地図旅行をしているような気もちがあじわえる、地図絵本です。

---

★ 『<sup>まほうつか</sup>魔法使いのチョコレート・ケーキ マーガレット・マーヒーお話集』

マーガレット・マーヒー/作 シャーリー・ヒューズ/画 石井桃子/訳 福音館書店



あるところに、<sup>まほう</sup>魔法はへたですが<sup>りょうり</sup>料理がじょうずな魔法使いがいました。ある日、魔法使いは、すばらしいチョコレートケーキをやいて町中の子どもたちを招待しました。でも、子どもたちは悪い魔法使いだと思っていたので、だれも来てくれませんでした。魔法使いは、ひとりで、りんごの木にチョコレートケーキをあげて、いっしょにお茶をのむようになります。すると、長い年月がたったある日、思いがけないことがおこります…。

ふしぎであたたかい短いお話集。

---

